

事務事業評価資料

施策名		青少年の健全育成の推進		所管部局課名	企画県民部県民文化局青少年課				
事業名		「子どもの冒険ひろば」事業の推進		担当者電話番号	育成事業係 078-362-3143				
事業目的		子どもが自由な発想で、のびのびと遊べる冒険ひろばづくりを支援することにより、子どものたくましく生きる力を育む。							
事業内容		ひろばの運営支援(補助期間:5年間、平成19年度年間200万円、平成20年度以降年間160万円、但し最終年度は80万円、補助率:10/10) プレイター-の養成 情報誌の発行			事業開始年度	平成15年度			
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額			
	事業費	(42,244 千円) 42,244 千円		(33,078 千円) 33,078 千円		(23,220 千円) 23,220 千円			
	人件費	2,674 千円	従事人員 0.3人	2,541 千円	従事人員 0.3人	2,508 千円	従事人員 0.3人		
	総コスト(+)	44,918 千円	従事人員 0.3人	35,619 千円	従事人員 0.3人	25,728 千円	従事人員 0.3人		
事業の目標		子どものたくましく生きる力を育むため、県内360か所(H15の中学校区相当数)にひろばを開設			[目標設定理由] 子どもに、より身近な場所での遊び場を提供するため				
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H19	H20	H21
	冒険ひろば開設数	360か所 (全中学校区)	19年度	418か所 (107 千円)	424か所 (84 千円)	430か所 (60 千円)	116.1	117.8	119.4
評価結果	必要性	・子どものインターネット・ゲーム機の過剰の利用や運動能力の低下等が懸念される中、子どもの生きる力を育むため、先導的な体験活動の場を提供することは必要である。							
	有効性	・ひろば開設数が当初の目標を上回る実績をあげ、また利用者数は平成19年度実績で約90,000人と、年々増加傾向にあり有効である。(18年度約69,000人)							
	効率性	・県が直接運営するのではなく、地域の実態を熟知し、子どもの遊びのノウハウを持つ青少年団体等の運営を県が支援する手法を取ることで、自主運営を基本とした体制への移行を進めている。 ・自主運営に向け段階的に運営費支援を削減するなど、コスト削減を図っており、効率的に事業実施している。							
	民間・市町との役割分担	・助成期間を立ち上げ時の5年間とした先導的なモデル事業であるため、県の役割として実施している。 ・今後はその定着状況を見極めながら、民間・市町による自主・自律的な開設・運営を働きかけていく。							
	受益と負担の適正化	・県が青少年団体、NPO等と協働して実施しているモデル事業であることから、県費で運営費助成等を行うことは適正である。							
実施方針	方向性	新規	拡充	継続	実施手法の見直し				
		廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	Ⓢ終期設定		
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他	
	説明	モデル事業として助成期間を5年と設定していることも踏まえ、各青少年団体等による、一層の自主的・自律的な運営を促進するため、より効果的な支援方策について検討を進める。							